病院見学に行こう！

見学日程　平日（月～金）　8：40～17：00

見学科　全診療科で見学を行っております。
複数科でも可能です。申し込み時にご希望をお伝えください。

旅　費　病院見学時の交通費・宿泊費支給あり

飲み会　ご希望の方は見学終了後、研修医との懇親会に参加できます。
費用は無料です。
研修医の生の声を聞く良い機会となります。是非ご参加下さい。
※都合により実施できない場合もあります。

申し込み　当院ホームページの見学申込フォームまたは、
右記QRコードよりお申込み下さい。

病院見学の流れ（例）

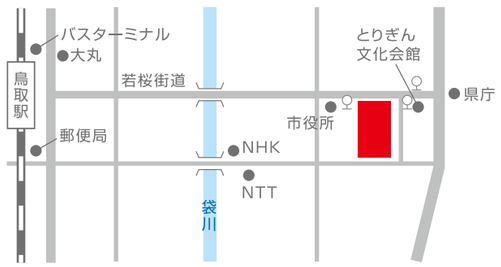
8:30	オリエンテーション
9:00	外来見学 内視鏡検査見学
10:00	
11:00	研修医に同行
12:00	昼食
13:00	手術見学
14:00	各部門紹介
15:00	研修医に同行
16:00	意見交換会
17:00	

※上記は一例です。

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

鳥取赤十字病院

〒680-8517　鳥取県鳥取市尚徳町117
TEL　0857-24-8111　FAX 0857-22-7903
URL　https://www.tottori-med.jrc.or.jp/
MAIL kyouiku2@tottori-med.jrc.or.jp
JR鳥取駅より徒歩20分またはバス5分



Japanese Red Cross Tottori Hospital

鳥取赤十字病院

Resident Recruit | 研修医募集 |

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society
鳥取赤十字病院

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

Program

研修プログラム

自由選択12ヵ月

	24週	4週	4週	4週	4週	12週
1年次	内　科	外　科	小児科	産婦人科	精神科	救　急

	4週	48週
2年次	地域医療	自　由　選　択

- 内科24週、救急12週、外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療はそれぞれ4週の研修を行う。
- 一般外来研修は、並行研修またはブロック研修により4週の研修を行う。
- 上記以外の研修期間は自由選択とする。

救急は津山中央病院や、高知赤十字病院など、地域医療は奈義ファミリークリニックなどから選択可能

TSUYAMA 津山中央病院

当院は岡山県北唯一の救命救急センターで、年間約5,000台の救急車と受診者も年間21,000人を超え、1次から3次までの豊富な症例を幅広く経験できる。

特に3次救急とICU全身管理は、救急科専門医の指導を受け正式な手技習得ができる。またドクターヘリによる患者受入れ及び搬送は、19年間で209回を数える。

救急車
5,000 台／年

救急受診患者
21,000 人／年

PICK UP

NAGI 奈義ファミリークリニック

0歳～100歳まで対応する家庭医療と地域の身近な医療を目指すプライマリ・ケアを行っており、また3年間で優秀な家庭医を育てる研修プログラム（日本プライマリ・ケア連合学会認定後期研修プログラム・日本専門医機構総合診療専門医研修プログラム）を提供しています。

来院患者数
100 人／日

PICK UP

Clinic introduction

診療科紹介

必修科目

内　科

○消化器内科
山陰随一の内視鏡検査件数を誇っています。最新の機器・設備のもと、様々な手技を経験することができます。

○呼吸器内科
呼吸器感染症、気管支喘息を始めとするアレルギー疾患、肺癌化学療法、間質性肺炎などのびまん性肺疾患など多岐にわたる呼吸器疾患について学ぶことができます。気管支鏡、人工呼吸器管理、胸腔ドレナージなどの処置・手技も経験することができます。

○腎臓内科
慢性腎不全から透析まで網羅。腎生検、緊急透析など、腎臓内科ならではの手技も学べます。

○糖尿病・代謝・内分泌内科
糖尿病・高血圧などの生活習慣病も病態から考え治療します。患者さんに合わせた生活習慣病の治療・療養指導のスペシャリストを目指しましょう。

○神経内科
脳血管障害などの急性疾患から頭痛や認知症などのcommon disease、神経変性疾患まで幅広い神経疾患を診療しています。地域医療に貢献できる神経内科がモットーです。

○循環器科
心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患や心不全・不整脈などの患者を多く扱っています。急性心筋梗塞の冠動脈インターベンションや急性心不全治療などの循環器疾患の急性期医療だけでなく、高血圧などの生活習慣病の管理まで循環器診療を幅広く学ぶことが出来ます。

外　科

豊富な症例を通じて、外科的基本手技から消化器癌・乳癌を中心とする悪性疾患の手術（腹腔鏡手術）を段階的に修得していきます。緊急手術にも柔軟に対応できる臨床外科医の育成を目指しています。

救　急

鳥取赤十字病院、津山中央病院、高知赤十字病院、豊岡病院、鳥取大学医学部附属病院などから選択可能です。

当院救急科には専任医師は配置していませんが、救急車来院患者のトリアージや初療を経験し、救急対応能力を習得します。

小児科

全ての疾患は小児期に始まります。主治医として、未来の父母として小児の発育、疾患を理解して下さい。カンファレンスなどを通じて小児科研修を全面的に支えます。

麻酔科

救急医療に必要な血管確保や、挿管技術を修得できます。もちろん、全身麻酔に関する技術、知識を修得できるようにスタッフ一同サポートします。

産婦人科

周産期医学、産婦人科腫瘍学、婦人科内分泌学という産婦人科学の主要3分野の症例をバランス良く経験できます。手術に関しては腹腔鏡や子宮鏡という内視鏡手術にも力を入れています。

精神科

鳥取医療センター、渡辺病院、鳥取大学医学部附属病院、鳥取県立中央病院などから選択可能です。

地域医療

奈義ファミリークリニック、智頭病院、岩美病院から選択可能です。

選択科目

- 整形外科
- 頭頸部外科
- 眼　　科
- リウマチ科
- 泌尿器科
- 皮膚科
- 耳鼻咽喉科
- 血管外科
- リハビリテーション科
- 脳神経外科
- 放射線科
- 病理診断科

Schedule of the day

研修医の一日

研修医になると
生活が大きく変わります。
どんな日々を過ごしているのか、
よくある一日をご紹介します。

07:00 起 床
住宅手当を利用して、病院近隣の賃貸物件から出勤するので、最悪30分前に目が覚めれば大丈夫。

08:00 指導医とのミーティング
朝はカルテや、患者さんへの挨拶から患者さんのようすを把握して、指導医と今日の予定を確認します。

09:00 外来検査業務
研修医最初の6ヵ月間は、採血、点滴、エコー検査などを日毎に行って、手技を徹底的に経験します。

12:00 昼 食
職員専用食堂の日替わり定食がおすすめです。その他に宅配弁当の配達や、院内にファミリーマートもあるため、時間がないときでも困りません。

13:00 病棟業務（手術）など
職場は、アットホームな雰囲気で、看護師やコメディカルの方とも、気軽に話せるのがとても良いです。

19:00 夕 食
研修医同士や、他職種の同期、先輩に誘われて、定期的に食べに行ったり、飲みに行ったりしています。

23:00 就 寝
睡眠不足は体調に直結。睡眠時間はしっかりとるように心がけています。

Common disease

コモンディジーズ

一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、
基本的な診療能力を身に付けることが臨床研修の目的です。
当院では、研修医が多くの疾患を経験できる症例が豊富にあります。

代表疾患の入院症例数

脳血管障害 脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血	171 人	食道・胃・十二指腸疾患 食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍 急性胃腸炎	283 人
心不全	299 人	腎不全	251 人
高血圧 本態性、二次性高血圧症	120 人	糖代謝異常 糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖	511 人
呼吸器感染症 急性上気道炎、肺炎	372 人	認知症 血管性認知症を含む。	103 人

>上記は臨床研修の到達目標　経験すべき疾患・病態の一部について、当院の患者数を掲載しています。
※平成30年1月～12月　入院患者延数　合併症がある場合は重複してカウントしております。

ER system

救急体制

当院は鳥取県東部医療圏の2次救急受け入れ病院として、
多くの患者を受け入れており、研修医が救急隊と直接やり取り
するなど経験を豊富に積むことが出来ます。

救急患者数　7,949 人　一日当たり 21 人

救急車受入数　2,563 台　一日当たり 7 台

トリアージ制度

毎週の急患対応で救急対応力を磨く

救急隊からの連絡を直接受け、検査オーダーから診断まで研修医が主体となって行います。(指導医の指導の下)ある程度救急対応が出来るようになる1年時の後半から、日中の研修をしながら、毎週1回行います。

Training

経験症例

当院では、豊富な症例経験に加えて、基本手技の習得が
2年間で確実にできるよう手技経験が豊富につめるよう
取り組んでいます。

研修医1年目の経験症例数

胃カメラ	100 回以上
心エコー	10 回
中心静脈	7 回
ルンバール	3 回
中心静脈カテーテル	数 回
腹部エコー	100 回以上
胸水穿刺	5 回
腹水穿刺	10 回
トロッカー挿入	2 回
心臓カテーテル検査(介助)	30 回
(穿刺)	5 回

※上記症例数はある研修医（外科志望）が1年目で経験した
実際の症例数です。

REPORT

内科　週間ローテーション(例)

月曜日　腹部エコー
腹部エコーを毎週経験することで、救外対応時の消化器疾患の診断にとても役立ちます。

火曜日　注射/予診
外来患者さんの採血、末梢点滴を行います。採血は多いときは40件することも。

水曜日　内視鏡
1日100件以上の内視鏡が当院では行われており、研修医も多くの症例を経験できます。

木曜日　心エコー
手技習得まで時間が必要な心エコー。ベテラン検査技師さんから直接、手技習得について学べます。

金曜日　一般外来研修
午前は総合診療科または内科外来で初診患者さんの問診から診療・治療まで指導医と共に行います。午後は他院からの紹介患者や、救急患者への対応を行い、頻度の高い症候・疾患に対応できる診断能力を身につけます。

心臓カテーテル
循環器科を志望の有無に関わらず、内科研修として、心臓カテーテル検査の介助を経験します。

救急診療セミナー

4～9月　研修医が知っておくべき基本的疾患・診療内容について、各診療科が講義形式で研修を行っています。
テーマ（例）腹部超音波検査入門、頭部外傷の見方、産婦人科領域の急性腹症など

Voice

研修医の声

池田さん（2年目研修医）

「研修医の特徴にあった研修内容を設定できる」というところが当院の最大の魅力だと思います。どんな医師になろうとも最低限身に付けておかなければならないことはあろうかと思いますが、人それぞれタイプがあります。当院はたくさんの病院と連携することで研修医のタイプに合わせた研修先を選択できることを可能にしています。

また中規模の病院であるためかコメディカルと関わる機会が非常に多いです。そんな中で、チーム医療を行う上で医師にこうして欲しいという要望をどんどん言ってもらえる環境があることも当院の魅力だと思っています。

野内さん（1年目研修医）

私は今、内科をローテーションしており、指導医の先生方、病院内のスタッフの方々からご指導を頂きながら、日々研修しています。指導医の先生方とは距離が近く、疑問に思ったことはすぐにお聞きすることが出来ます。救急外来ではcommon diseaseも多く見られ、ローテーションしていない診療科の先生方ともディスカッションする機会やレクチャーを受ける機会も多く、とても勉強になります。また、手技をさせていただける機会が多いのも魅力の一つだと思います。先生方だけでなく、同期入職の方々やその他病院内のスタッフの方々とも距離が近く、アットホームな雰囲気の中で有意義な研修生活を送っています。

医師奨学金

当院では、医学生向けの奨学金制度を設けております。
詳細は右記QRコードより、ホームページをご参照下さい。

6年生なら初期研修修了で返済免除となります

貸与額	年２６４万円（月２２万円）
募集人数	２名程度（医学部新１年生～６年生）
募集期間	ホームページにてお知らせしています。
選考方法	書類審査および面接により選考

全額免除要件	（ア）初期臨床研修を当院で行うこと （イ）初期研修修了後、貸与期間から1年を引いた期間を鳥取赤十字病院で勤務すること
応募要件	（ア）大学の医学を履修する課程（自治医科大学・産業医科大学除く）に今年度就学予定のもの、または現在在学するもの （イ）鳥取赤十字病院で初期臨床研修を行う意思のあるもの

募集要項

処遇について

身分	常勤嘱託医師
勤務時間	平日８：３０～１７：１０ ※育児短時間勤務制度あり
休日	土日祝日・年末年始・年次有給休暇 創立記念日の振替休日・育児休業・介護休業
社会保険	健康保険、厚生年金保険、労災保険 雇用保険、医師賠償責任保険

給与	基本給　300,000円/月（1年次） 350,000円/月（2年次） 当直手当　80,000円/月（原則4回　別途時間外手当） 住宅手当　28,500円/月を上限に家賃半額を支給 ※初回敷金・礼金全額支給 時間外手当　35時間/月を上限に支給 研修支援　150,000円/年を上限に学会・研修会費支給
賞与	年　800,000円（1年次） 年　1,200,000円（2年次） 退職時400,000円（初期研修修了時）

応募について

募集人数	４名
応募資格	医師免許取得予定者または取得者
募集期間	ホームページにてお知らせしています。
選考方法	書類審査及び面接試験

書類	「鳥取赤十字病院研修医選抜面接試験願書」 「成績証明書」
提出部署	〒680-8517　鳥取県鳥取市尚徳町117 鳥取赤十字病院　教育研修推進室 TEL：0857-24-8111　FAX：0857-22-7903 E-mail：kyouiku2@tottori-med.jrc.or.jp ※詳細は当院ホームページをご覧ください。

病院概要

当院は全国に92ある赤十字病院のひとつで、鳥取県東部地区の急性期医療を中心とする病院です。消化器疾患における上部・下部の内視鏡件数は県内最多で手術件数もトップクラスである他、救急医療・がん治療・心筋梗塞の治療に力を注いでいます。数多くのOB開業医とのつながりを大切にした病診連携にも力を入れており地域医療支援病院として地域医療の一翼を担っています。また、災害救護活動も重視し日本赤十字社としての救護班のほかに国直属の災害派遣医療チーム(DMAT)を編成しています。

施設概要

病床数	350床	特殊機能	救急告知病院、臨床研修指定病院
職員数	648人(医師61人)		第2次救急医療施設(輪番制病院)
診療科	24科4センター		災害拠点病院、地域医療支援病院

主な診療指標（平成30年度）

手術件数	2,810件
救急車搬入数	2,563件
平均入院日数	12.4日
紹介率	76.3%
逆紹介率	109.4%
新入院患者数	7,523人
外来患者延数	143,410人
救急患者数	7,949件

日本赤十字社について

世界最大のネットワークを持って活動する人道機関で、日本赤十字社は世界の191カ国に広がる赤十字・赤新月社のひとつです。日本赤十字社は日本国内の103の医療施設、関連施設も含めると434施設を有します。

主な活動内容

❶国際活動
❷救護活動
❸医療事業
❹看護師等養成事業
❺血液事業
❻社会福祉事業
❼救急法等の講習
❽ボランティア活動